

## アドバンス・インフォ・サービス(ADVANC)

2019/12期2Q(4-6月)はコア・サービス収入が前年同期比5.8%増、年内に固定ブロードバンド契約者数100万件へ  
タイ | 通信事業者 | 業績フォロー

## フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG ADVANC:TB | REUTERS ADVANC.BK

- 8/5発表の2019/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比5.8%増の446.88億THB、営業利益が同5.9%減の101.03億THB、純利益が同3.5%減の77.25億THB。コア・サービス収入は同5.8%増の353.94億THB。
- モバイル契約者数は純減だったが、ポストペイドが増加基調を維持。FMCへの切り替えにより固定ブロードバンド契約者数が伸びた。
- 2019/12通期会社計画は、コア・サービス収入が前期比一桁台中盤の伸び率、設備投資が200-250億THB、配当性向が70%以上。年内に固定ブロードバンド契約者数を100万件まで引き上げる計画。

## What is the news?

8/5発表の2019/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比5.8%増の446.88億THB、営業利益が同5.9%減の101.03億THB、純利益が同3.5%減の77.25億THB。相互接続(IC)および機器レンタルサービスを除くコア・サービス収入が同5.8%増の353.94億THBとなった。モバイル市場の競争環境の緩和に伴い販売価格が改善したほか、固定ブロードバンド通信が好調を維持した。一方、4Gネットワークへの投資が嵩み、売上原価が同6.2%増の268.79億THBと膨らんだ。さらに、ブランド認知向上のためのマーケティング費用やヘッドセットの販促キャンペーン費用、労働者保護法の改正に伴う一時的な退職給付引当金の繰り入れなどにより、販売費・一般管理費も同24.4%増の77.06億THBと嵩み、営業減益となった。EBITDAマージン比率は42.8%と前年同期の45.0%から220bp悪化した。

売上高のうち、①モバイル通信収入は前年同期比5.3%増の329.11億THB。無制限データプランから通信量ベースのプランへの切り替えが進み、契約あたり月平均収入(ARPU)が同1.8%上昇。モバイル契約者数は前四半期比26,300件純減の41,464,400件。うち、プリペイド契約が同276,000件純減と落ち込んだが、単価の高いポストペイド契約は同249,700件純増と増加基調を維持。②固定ブロードバンド通信収入は前年同期比26.1%増の13.80億THB。ブランド認知が改善したほか、携帯からFMC(有線通信・移動体通信を組み合わせさせたサービス)への切り替えを促進したことで、契約者数が60,400件純増の855,400件となった。③その他サービス収入は同1.1%増の11.03億THB。④IC・機器レンタル収入は、同0.2%増の28.41億THB。⑤SIM・端末販売収入は、同9.0%増の68.67億THBだった。

## How do we view this?

2019/12通期会社計画は、コア・サービス収入が前期比一桁台中盤の伸び率(前期:1,698.56億THB)、EBITDAマージンが前期から横ばい(同:43.4%)、設備投資が200-250億THB(同:201.98億THB)、配当性向が70%以上(同:73.6%)。競争力のある周波数帯域ポートフォリオを武器に4Gネットワークの拡大に取り組むほか、固定ブロードバンド通信ではFMCへの切り替えにより契約者数を年内に100万人に引き上げる方針。

## 業績推移

※参考レート 1THB=3.46円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万THB)	152,149	157,721	169,855	175,588	181,599
当期利益(百万THB)	30,666	30,077	29,682	30,988	32,867
EPS(THB)	10.31	10.12	9.98	10.37	11.01
PER(倍)	20.85	21.25	21.54	20.73	19.53
BPS(THB)	14.32	16.93	19.35	22.57	25.42
PBR(倍)	15.01	12.70	11.11	9.53	8.46
配当(THB)	10.08	7.08	7.08	7.35	8.11
配当利回り(%)	4.69	3.29	3.29	3.42	3.77

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

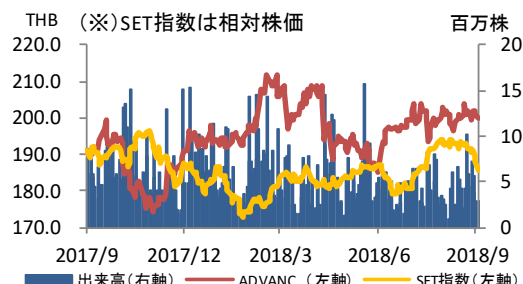
配当予想(THB)	7.35	(予想はBloomberg)
終値(THB)	215.00	2019/8/6

## 会社概要

1986年に創業した通信会社。モバイル通信、固定ブロードバンド通信、デジタルサービスの3つをコアビジネスとして展開する「Digital Life Service Provider」である。売上高および市場シェアはタイのモバイル通信事業者で最大規模(2018年末時点)。4G/3G/2Gのネットワークはタイの総人口の98%をカバーしている。同社のモバイル通信サービスには、音声通話、モバイルデータ、WiFi、国際直接ダイヤル(IDD)、および国際ローミングが含まれる。2015年には、「AIS Fiber」ブランドのもと固定ブロードバンド通信の提供を開始。2018/12末時点で57都市700世帯以上をカバーしている。デジタルサービスでは、ビデオプラットフォーム、ビジネスクラウド、モバイルマネー、IoT、その他プラットフォームの5つの分野に注力している。エンターテインメントモバイルアプリ「AIS PLAY」や家庭用セットトップボックス「AIS PLAYBOX」、独自のモバイルマネープラットフォーム「mPAY」を提供するほか、LINEとの合弁会社を通じ電子マネー「Rabbit LINE Pay」も手掛ける。IoT分野ではNB-IoT(Narrow-Band Internet of Things)サービスを全77県で展開。2018年には、法人向けクラウド事業の強化のためにCSL oxinfoを買収した。

## 企業データ(2019/8/7)

ベータ値	0.85
時価総額(百万THB)	645,180
企業価値=EV(百万THB)	731,533
3か月平均売買代金(百万THB)	1,112.6



## 主要株主(2019/8)

1. インタッチ・ホールディングス	40.45
2. テマセク・ホールディングス	23.32
3. Stock Exchange of Thailand	6.13

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

## 増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp  
+81 3 3666 0707

## 笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>